

平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

一億総活躍社会を目指す中で、元気で働く意欲のある高齢者が生きがいをもって社会に参加する「生涯現役社会」の実現に向けての取組には、シルバー人材センターの役割が大変重要視されています。

一方、会員の状況については、高齢者の退会や、企業の定年延長、再雇用制度など社会情勢の変化により入会者の減少傾向が続いており、会員数の減少と会員の高齢化が進み、会員数は21人減少して906人になり、会員の平均年齢は0.6歳上昇して71.4歳になり、会員の確保、特に若年層の入会促進が課題となっております。

事業実績につきましては、受託件数は4,244件と昨年度比0.2%増となりましたが、就業人員につきましては実人員818人と昨年度比2.7%減、年間就業率は90.3%と前年度比0.4%減少し、就業延人員も101,122人と2.7%減少しております。

受託契約額につきましても、総額514,898千円と前年度比1.6%減少しており、特に民間事業での減少が大きくなっております。

こうしたことから、シルバー事業の根幹である会員の増強や就業の拡大に向けた更なる普及啓発活動等の取組みが喫緊の課題となっております。

また、地域社会づくりに寄与するために、地域課題の解決の一助となる取組みとして、行政と連携して空き家等の管理業務を立ち上げました。

今後におきましても、高年齢者が有する経験と能力を生かして地域社会で活躍する場を提供し、生きがいの充実や健康の保持・増進、社会参加等、現役を引退した後も、就業を通じて地域社会での「居場所」と「出番」が得られるよう、会員・役職員が一丸となって、シルバー人材センター事業の充実・発展を図り、地域社会への貢献に役立つべく取り組まなければなりません。

次に、平成29年度に実施いたしました各項目についてご報告します。

1 安全就業の徹底

会員の就業にあたっては就業の安全が最優先であり、安全委員会の「就業現場巡回パトロール」を実施するとともに、各支部、各事業所で安全パトロールを実施し、会員の安全意識の向上と安全就業の徹底を促しました。また、損害賠償責任保険の対象となる事故について、「ペナルティ制度」を平成28年度から導入して会員の事故防止意識の高揚を図り、賠償事故件数については減少しております。一方、会員の傷害事故については、重篤な事故はないものの事故件数は増加しており、会員の安全意識の更なる高揚が求められます。

今後におきましても、機会あるごとに事故防止の啓発、安全防具の着用など安全意識の高揚に努めていきます。

2 適正就業及び就業機会の推進

法令を順守した適正就業を目指し、発注者等へ「適正就業ガイドライン」を配布して適正就業の趣旨を説明して、協力と理解を求めてきました。また、多様化する発注者のニーズに対応するため、会員の確保と派遣事業を推進するなど、今後においても適正就業に努めていきます。

一方、兵庫県シルバー人材センター協会が実施する労働者派遣事業の実施事業所として、シルバー派遣事業を推進し、就業機会の拡大を図りました。

3 講習会、講演会の実施

- (1) 草刈機講習会（54名参加）
- (2) 松の木剪定講習会の実施（28名参加）
- (3) しめ縄づくり講習会（14名参加）
- (4) 会員の健康保持のため、健康講演会を開催（93名参加）

4 普及啓発活動

会員及び就業機会の拡大を図るため、会報紙「シルバーだより」の発行や特に就業会員

の減少と高齢化が顕著な剪定・草刈・草引き業務の入会啓発用チラシを作成し、隣保回覧により周知し、地域住民の方にシルバー人材センターの状況をお知らせしました。

また、入会説明会を月2回開催し（太子支部、御津事業所は随時説明）、会員の確保に努めました。（参加者 男性58名 女性36名）

5 組織の充実

理事会、安全委員会、互助部会会議、職群班会議を開催し、円滑な事業運営に努めました。

また、本部、支部、事業所それぞれが連携、情報交換を図り、効率的、効果的な事業運営を推進するため定期的な連絡会議を開催しました。

6 その他の事業

- (1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、支部及び事業所の研修旅行並びに広域でのグラウンドゴルフ大会（参加者90名）等を実施し、相互の交流に努めました。
- (2) 会員のボランティア活動として、公共施設等の清掃作業等を行い、多数の会員の参加を得ることができました。
- (3) 引き続き、たつの市福祉会館の指定管理及び独自事業の「貸衣裳事業」に取り組みました。